

# 「自民党・公明党連立政権実績評価」

～地方分権改革は、いかほど進んだか～

## 全国知事会 政権公約評価特別委員会

全国知事会会長	福岡県知事	麻生 渡
政権公約評価特別委員長	佐賀県知事	古川 康

連絡先（委員長県）佐賀県政策監グループ 日野稔邦  
TEL0952-25-7360 hino-toshikuni@pref.saga.lg.jp

## 「政権実績検証大会」

～自民党・公明党連立政権の4年間を検証する～

新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）

平成21年8月2日

## I. 自公連立政権の「政権運営実績に関する総合評価」

### (1) 総 評

判定 58点 / 100点 (①+②)

地方分権改革は、歴代政権において重要課題と位置づけ、地方分権改革推進法の制定、分権改革相の任命、内閣の分権本部設置など体制整備を行ったが、今なお官僚の抵抗は続いている。

また、財源確保では、総理・政治の指導力を感じるが、分権改革での指導力が外からはうかがうことができない。

### (2) 要素別評価

#### ①【内閣の運営に関する責任】

判定 25点 / 50点

評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方分権改革推進法を制定し、分権改革担当相を任命し、内閣に分権本部を設置する等政治主導で地方分権を進める体制を整えている。</li> <li>○ 分権委員会勧告を受け、分権要綱、出先機関改革工程表を決定し、道筋をつけているが、未だに官僚の抵抗が続いていることは残念。</li> <li>○ 財源面では、交付税増額等政治の指導力発揮が伺えたが、分権改革の面では、官僚を抑える指導力を外部から感じる事ができない。</li> </ul>
--------------------------	--

#### ②【政権公約のサイクル形成に関する責任】

判定 33点 / 50点

【2005年衆院選 自民党・公明党連立マニフェスト】

19年度以降も、地方の意見を尊重しつつ、一般財源を確保のうえ、地方分権をさらに推進

評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴代政権は、総裁選、施政方針、骨太方針で、分権改革の推進を表明しており、政権公約は概ね、継承されている。</li> <li>○ 財源面については、安倍内閣のもとで税源移譲や一般財源確保の方針がやや後退したものの、参院選の結果を受け、その後は一般財源確保が強調されている。</li> <li>○ その反面、骨太方針 2009 では、従来の骨太方針と比べて分権改革の記述が大幅に薄くなり、財源問題と反比例するように分権改革の重要度が低下しているとも受け止められる。</li> </ul>
--------------------------	--

## Ⅱ. 自公連立政権の「政策実績に関する総合評価」

### (1) 総合評価結果

判定 56点 / 100点 (①+②+③)

政権公約 2005、参院選公約、麻生総理の総裁選公約から、次の4点の実績を評価

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| ① 22年6月までの分権一括法案国会提出 | ③ 地方の意見の尊重 |
| ② 一般財源確保・財政力格差是正     | ④ 道州制の推進   |

### ①【実績】

判定 44点 / 80点

評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①地方分権一括法案国会提出 (14点 / 30点) ・分権要綱、出先改革工程表を決定しているものの、官僚の抵抗は続き、第3次勧告も遅れる等、22年3月の分権改革推進法失効を前に、分権一括法国会提出など改革の実現を危惧。 ②一般財源確保・財政力格差是正 (20点 / 30点) ・平成16年以降続いていた地方交付税の削減傾向に歯止めがかかり、21年度は総理指示もあり、増額になった点は高く評価。 ・一方で、格差是正のため、暫定的とはいえ、法人事業税の一部国税化がなされたことは、地方分権の基本方向から見て問題であり残念。 ③地方の意見の尊重 (5点 / 10点) ・国と地方の定期意見交換会が創設されたが、形式的な会議であり、実質的に地方意見は反映されているとはいえない。 ④道州制の推進 (5点 / 10点) ・政府懇談会が「地域主権型」の方向性を明確にしたものの、具体的な検討には至っていない。
--------------------------	--

### ②【実行過程】

判定 6点 / 10点

評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・要綱、工程表決定により分権改革の道筋をつけているものの、当初のスケジュールとズレがでてきており、それを明確に是正できずにいるため、全体スケジュールの遅延が心配される。
--------------------------	--

### ③【説明責任】

判定 6点 / 10点

評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・分権委員会が公開で行われているため、官僚の抵抗が白日のもとにさらされている点は評価。しかし、地方財政対策の過程は外部からわからない。 ・所信表明等で分権への決意は示されているが、骨太09では、分権改革の記述が薄くなったこともあり、政権の方針がみえにくいものとなった。
--------------------------	---